

探究基礎(1学年)で課題研究の中間発表会が行われました！

9月30日(金)第5・6校時に1学年の探究基礎で取り組んでいる課題研究の中間発表会が行われました。テーマ毎に10のゼミに分かれて行い、その様子を講師の先生にも聴いていただき、その後アドバイスをいただきました。1月に行われるSSH成果発表会に向けて研究・発表準備を更に進めていきます。

指導して頂いた講師の紹介

- ・群馬大学共同教育学部理科教育から2名
岩崎博之 教授、佐藤綾 准教授
- ・群馬大学数理データ科学教育研究センターから1名
青木悠樹 教授
- ・群馬大学大学院理工学府から3名
大澤研二 名誉教授、天羽雅昭 教授、
板橋英之 教授
- ・群馬大学情報学部から1名
柿本敏克 教授
- ・共愛学園前橋国際大学から3名
兼本雅章 教授、小林恵美 教授、
野口華世 教授



講師からのメッセージ(抜粋)

- 生徒たちが伸び伸びと研究している様子が見え、とても素晴らしいと思います。
- 班による差はありましたが、個性的なテーマ設定が多いところが新鮮でした。目標が明確でない班もあったのが初々しく感じました。とは言え、これは今後改善が必要です。
- 真剣に議論している生徒が多かったため、助言がしやすかったです。
- 先行研究を調べたうえで計画を立てられているところが良かったです。
- どれも良い研究になりそうですが、それぞれテーマが広すぎたり、集めようとするデータをどう使うか考えが定まっていないところもありました。

今後の流れについて

今回の指導を踏まえて、ゼミ担当の先生やテーマに即した教科の先生の方も借りながら課題研究を進めていきます。1月に行われるSSH成果発表会では各班がポスター発表を行います。代表となった班のポスター発表はオンライン配信も予定していますので、配信の際には是非ご覧ください。